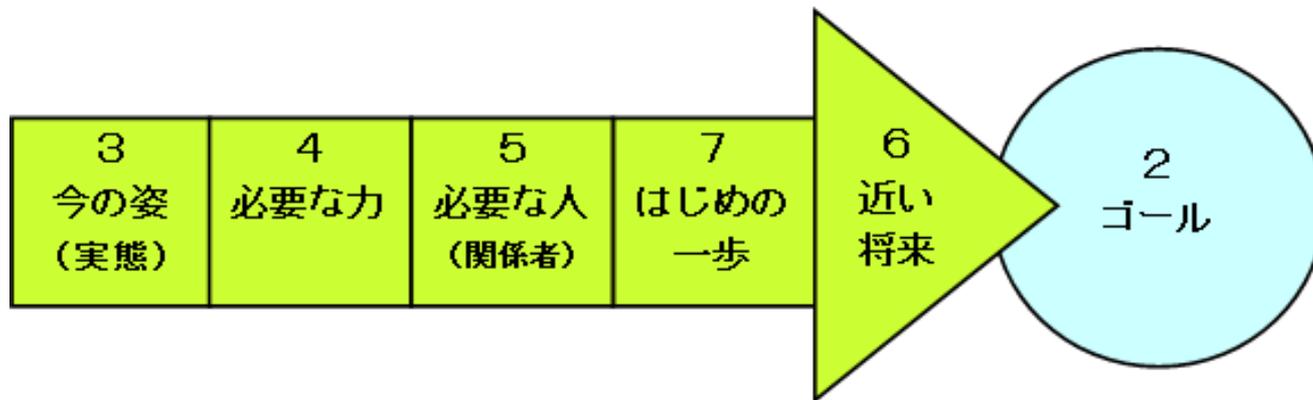


◇ PATHの考え方 ◇

(Planning Alternative Tomorrow with Hope)

「希望に満ちたもう一つの未来の計画」

幸せの一番星
(夢・希望)



- <ステップ1> 障害のある人の「**幸せの一番星(夢)**」を皆で共有する。
- <ステップ2> **ゴールを設定**し、夢が達成できた時に何を感じているかを話す。
- <ステップ3> ゴールに向けて、**今、どんな状態にあるのか**を確認する。
- <ステップ4> 夢の実現のために **どんな力を身につけたらよいか**、を話し合う。
- <ステップ5> 夢の実現のために **必要な人が誰か?**を確認する。
- <ステップ6> **近い将来**、夢の実現に向けてどんなことをしているかを確認する。
- <ステップ7> **はじめの一步**として、参加メンバーがそれぞれの立場で何をするかを表明する。

<引用> 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 「ぱれっと(PALETTE)」作成チーム(2016年)

手厚い支援を必要としている子どものための情報パッケージ はれっと(PALETE)

～子どもが主体となる教育計画と実践をめざして～ 株式会社 ジアース教育新社(116ページ)